

合同会社さわやかホーム 第1回 地域連携推進会議 議事録

1. 日時

令和7年11月18日（火）午後1時半より午後3時まで：会議

令和7年11月18日（火）午後3時より午後3時半まで：見学

2. 場所

さわやかホーム豊中赤阪（グループホーム内）

1. 出席者（敬称略）

福祉関係 1名

近隣住民 1名

利用者Aの母親 1名

利用者O 1名

和田 由里子（サービス管理責任者）

和田 伸一（管理者）

計6名

2. 議題

地域連携推進会議の設置趣旨について

当ホームの運営状況について（収支報告、食事提供など）

虐待に関して

意見交換

施設見学

3. 議事概要

(1) 開会・議題説明

管理者より開会の挨拶があり、本会議が地域住民や関係者との連携を深め、透明性の高い運営を目指すために設置されたものである旨、説明がなされた。特に災害時など、地域との連携が不可欠である点が強調された。

(2) 会議設置の経緯

管理者より、本会議設置の直接的なきっかけとなった大手グループホーム事業者の不正事件について、新聞記事を交えながら説明があった。

事件の概要：利用者から預かった金銭を不正に処理し、「犬の餌のような」と形容されるほど粗末な食事を提供していた。この事件は全国的な問題となり、結果として事業者は営業停止処分となった。

設置の目的:

このような事件の再発を防ぐため、行政指導のもと、地域住民の目を行き届かせることを目的として、各事業所で本会議の設置が義務付けられた。内部告発や家族からの通報が事件発覚のきっかけとなったことから、外部の視点の重要性が述べられた。

(3) 当ホームの運営状況について

管理者より、当ホームの運営に関する資料が配布され、透明性を確保するための取り組みについて説明がなされた。

収支報告:

利用者に毎月発行している請求書の内訳を提示。食費、水道光熱費、日用品費などが明確に分けられており、市にも報告している金額であることが説明された。

費用精算:

食費：5日以上前に連絡があった場合は、食事をしなかった分を精算し返金している。

水道光熱費：4ヶ月に一度、実際のメーター使用量に基づいて精算。過払い分は返金し、不足分は追加徴収する方式をとっている。

食事の現状:

食材費は赤字が累積している状況。昨今の物価高騰（トマト 1 個 300 円など）が経営を圧迫しており、特に米の確保に苦勞している実情が共有された。食事は栄養バランスを考慮し、外部の食材配達サービス（ヨシケイ）などを活用している。

(4) 意見交換

出席者からは、以下のような意見や質問が出された。

近隣住民：「(不正事件のようなことは) 時々ニュースで聞く。障害や食事のことなど色々ある。」

福祉関係：「大手事業者の不正は悪質。ここまで詳細な収支明細を利用者に見せない事業所もある。」

虐待問題についても触れられ、外部から見えにくい虐待（心理的虐待など）の存在も指摘された。当ホームでは、利用者と職員の関係は良好であり、虐待の心配はないとの見解が示された。

(5) その他

本日、新たに1名が入居し、定員の4名が満室となることが報告された。
行政からは、本会議と施設見学は別日に実施するよう指導されているが、参加者の負担を考慮し、やむを得ず、本日はこの後、施設見学を行うこととした。
具体的には、母親1名は今月入院予定があり、また1名は病気の手術後で療養中など何度も足を運んで頂くのは現状むりである。

(6) 施設見学

会議終了後、出席者でホーム内の見学を行った。
室内内覧は拒否される利用者が多く、1名の部屋のみ内覧してもらった。

(7) 閉会の挨拶

管理者より：頂いた意見を今後の支援に活かし、引き続き地域との連携を深められるように協力の依頼をして閉会。

以上